



## 南区のまちづくり

### まちづくりの方向性

- 大橋では、交通結節機能の高さを生かした福岡市南部の拠点の形成を図ります。また、長住・花畑では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 油山や鴻巣山、那珂川、ため池などの水辺では、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 警固断層周辺では、中高層建築物の耐震強化を促進するとともに、那珂川などにおいて浸水対策を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。
- 区内及び近接地に立地する九州大学芸術工学部、香蘭女子短期大学、純真学園大学、精華女子短期大学、第一薬科大学、福岡女学院大学といった特色ある大学・短大などの多様な主体と連携し、各主体がもつ専門的な人材や知見を生かしたまちづくりを進めます。



大橋



油山牧場

## 将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

### <拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
<b>南部広域拠点 (大橋)</b> 	大橋を核として、交通結節機能の高さを生かし、商業・業務機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した福岡市南部の拠点	<b>広域拠点核</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商業・業務機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ 連続性のある街並みや緑化などによる都市景観の形成</li> </ul>
		<b>広域拠点核 連携ゾーン</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共・公益・文教施設立地の特性を生かした街並みの形成</li> </ul>
<b>地域拠点</b> 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(長住・花畑) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> </ul>	
<b>生活商業地</b> 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 鉄道高架化による道路や地域の分断解消(井尻)</li> </ul>	
<b>都市軸</b> 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿道の有効利用</li> <li>○ 後背地などの周辺環境への配慮</li> <li>○ 交通ネットワークの充実・強化</li> <li>○ 連続性のある良好な街並みの形成</li> </ul>	
<b>沿道軸</b> 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地		

## <環境資源などを保全・活用するエリア>

ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
みどりの輪・ みどりの帯 (森の緑地環・ 緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 油山や鴻巣山などの豊かな自然の活用</li> <li>○ 生物多様性の保全・回復・創出</li> </ul>
河川緑地軸 	那珂川やため池など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、地域の散策・市民の憩いの場となる水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成</li> <li>○ 親水性の向上</li> <li>○ 生物多様性の保全・回復・創出</li> <li>○ 安全で快適な都市基盤の整備</li> </ul>

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

## <土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
複合市街地ゾーン 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良好な居住環境の形成</li> <li>○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> </ul>
中高層住宅ゾーン 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
低中層住宅ゾーン 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低中層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
低層住宅ゾーン 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
住工複合ゾーン 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住宅の多い地区での良好な市街地環境の保全・形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 敷地内緑化などによる緩衝機能の確保</li> </ul>
山地・丘陵地 	油山や鴻巣山などの豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実</li> <li>○ 無秩序な開発の抑制</li> </ul>



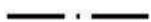
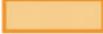
1 都市計画マスタープランの位置づけと役割

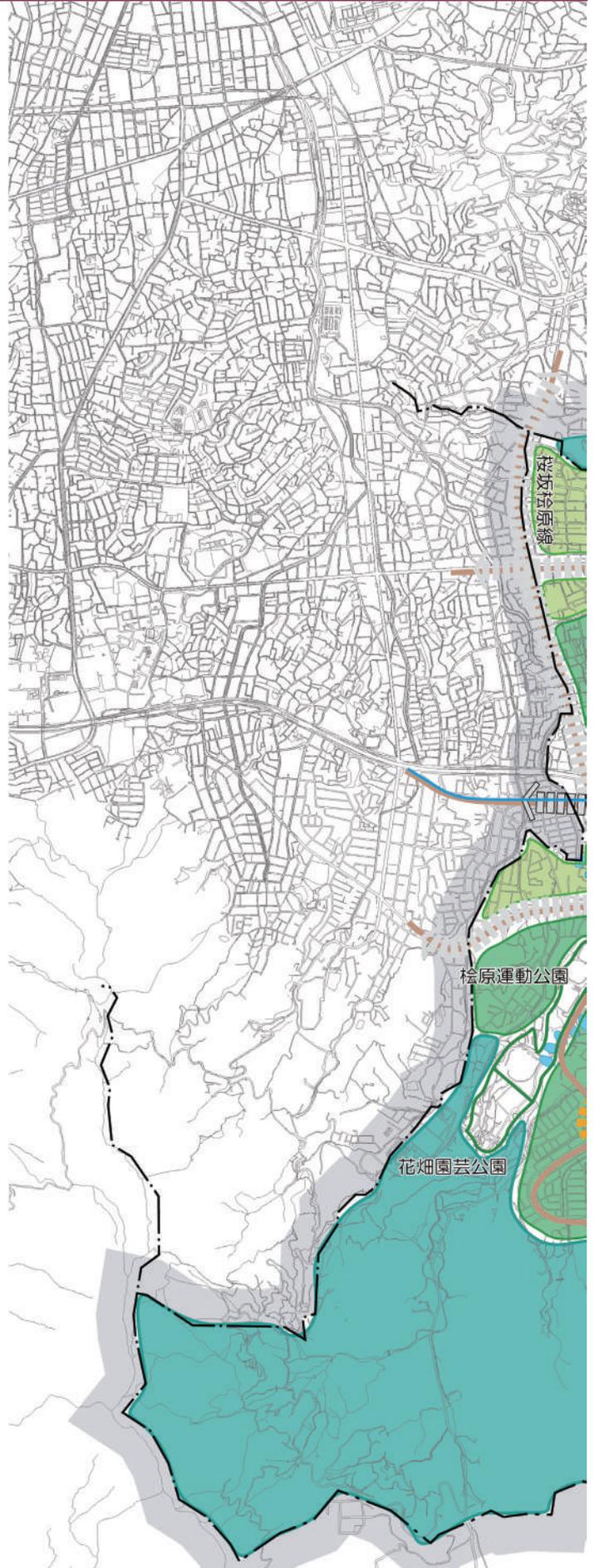
2 都市の現状と都市づくりの課題

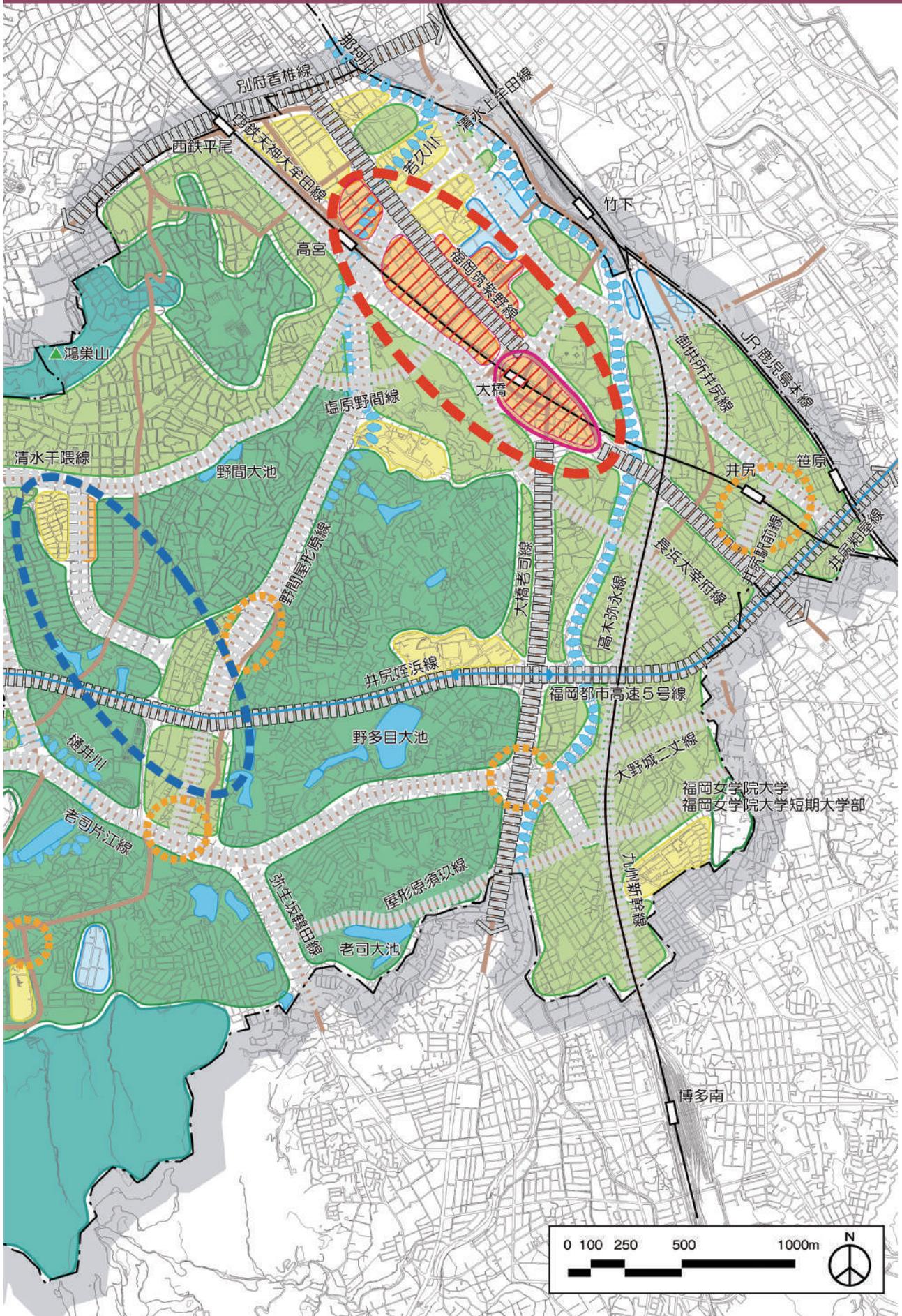
3 全体構想

4 区別構想(南区)

# 将来像図

- [ 凡 例 ]**
-  都市計画道路等
  -  自動車専用道路
  -  鉄 道
  -  大規模施設・大規模公園
  -  区界
  - 拠点など**●
    -  南部広域拠点
    -  広域拠点核
    -  広域拠点核連携ゾーン
    -  地域拠点
    -  生活商業地
    -  都市軸
    -  沿道軸
  - 環境資源などを保全・活用するエリア**●
    -  河川緑地軸
  - 土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア**●
    -  複合市街地ゾーン
    -  中高層住宅ゾーン
    -  低中層住宅ゾーン
    -  低層住宅ゾーン
    -  住工複合ゾーン
    -  山地・丘陵地





## 現況と課題

[凡 例]

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| — 都市計画道路等（整備済・概成）      | ■ 農用地区域            |
| - - - 都市計画道路等（未整備・整備中） | ■ 標高80m以上          |
| → 自動車専用道路              | — 市街化区域および市街化調整区域界 |
| — 鉄道                   | - - - 区界           |
| ● 主な公園・緑地              |                    |
| ● 主な公共施設               |                    |
| ▼ 大学                   |                    |
| ◆ 文化財・寺社               |                    |

- 大橋駅から高宮駅の周辺には、商業施設や区役所などの公共施設が立地し、バスの乗り継ぎも多く、各種交通機関の結節点となっており、南部広域拠点を形成しています。ここから、区の西部・南部地域へ道路交通網が広がり、外環状道路が東西をつないでいます。
- 丘陵地などを開発し、まちが発展してきたため、坂が多い特徴があります。昼間人口に比べて夜間人口が多い「くらしのまち」であり、緑豊かで閑静な戸建住宅地や大規模団地などが南区全域に広がっています。住宅ニーズの多様化などに対応しながら、老朽化した大規模団地の建替えが進んでいます。
- 南西にそびえる油山では豊かな自然環境を生かした油山牧場・市民の森がリニューアルし、南北に流れる那珂川の水辺環境整備も進んでいます。この他、鴻巣山やため池など、住宅地の近くに、住民が日常的に触れ合える魅力的な自然環境を有しています。
- 区内及び近接地に特色ある大学・短大などが立地しており、外国人留学生も多く生活しています。
- 地域と行政の共創によるまちづくりが進んでおり、引き続き、地域活動の新たな担い手の発掘・育成や、大学や企業などの資源を生かした取組みを充実していく必要があります。
- 幹線道路ネットワークの形成、交差点の改良などにより、車両や歩行者が円滑に通行できる環境整備が進んでいます。一方、生活交通の確保や道路の混雑緩和、誰もが安心して移動できる歩行空間づくりなどに引き続き取り組んでいく必要があります。

